

「もんじゅ」耐震安全性評価について

平成20年3月31日 新指針に基づく「もんじゅ」耐震安全性評価結果の報告(基準地震動600ガル)

国の委員会による審議

中越沖地震も踏まえた追加調査の実施など、

(もんじゅ敷地内の追加ボーリング調査)



活断層評価に関する中間論点整理

〈ポイント〉 (平成21年2月25日)

- 『和布めら—干飯崎かれいざき—甲楽城かぶらき』それぞれの断層の同時活動を考慮すべき(右図【1】)
- 『大陸棚外縁—B断層—野坂』それぞれの断層の同時活動を考慮すべき(右図【2】)
- 念のため、柳ヶ瀬断層等との連動による評価を考慮すべき

基準地震動S_sの見直し

(平成21年3月3日)

他サイトの耐震安全性評価に係る審議状況や新潟県中越沖地震の知見を反映して地震動評価を行い、基準地震動S_sを見直しました。

(見直し前) (見直し後)
600ガル → **760ガル**

見直した基準地震動S_s(760ガル)に対する安全上重要な主要設備の耐震安全性が確保されていることを事業者として確認 (平成21年3月31日)

国の委員会において、断層モデルに基づく地震動評価における地盤モデルの見直しが審議され、今後、見直した地盤モデルに基づき地震動を再計算して施設の耐震安全性を詳細評価する予定だが、施設の健全性は確保できる見通し。

